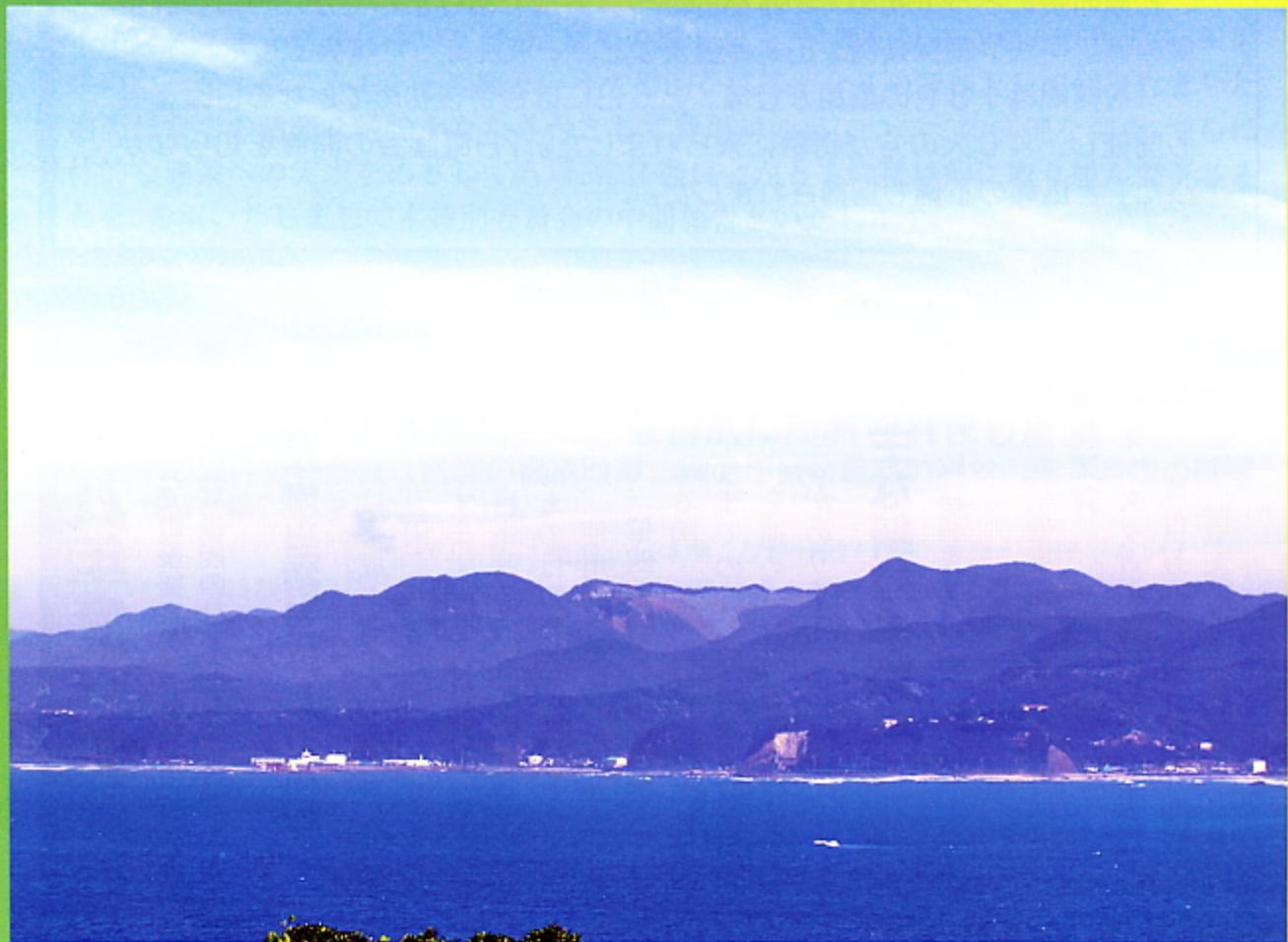


# くしもと

第3号 2006年9月

# 議会だより



串本町が世界に誇るラムサール条約登録地 鎌浦海岸

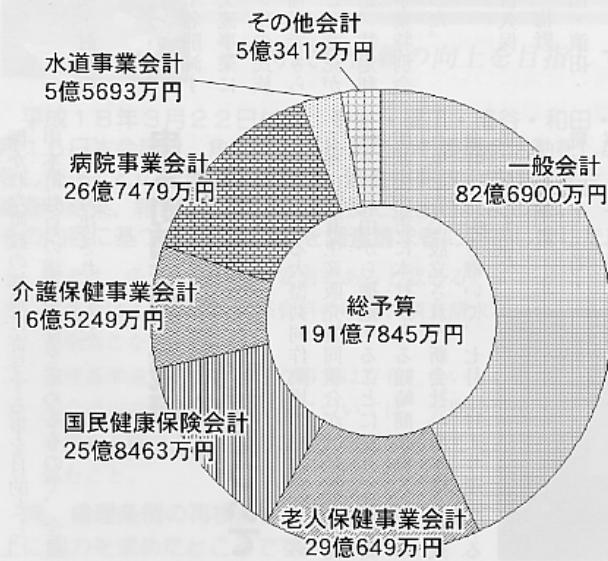
## 誌面紹介

◆ 3月議会の概要	P 2 ~ 3
◆ 6月議会の概要	P 4 ~ 5
◆ 一般質問	P 6 ~ 12
◆ 研修会参加報告	P12~13
◆ 政治倫理審査会報告	P13
◆ 特別委員会報告	P14~15
◆ 議会の動き・編集後記	P16

3月議会

国保条例改正を否決

されてますが、利用できない方もおり、A型（一日定員十五名）の施設にしていただくよう要望するものです。



## 「ふくいくの園」の 充実を求める 意見書可決

重症心身障害児を通園事業（B型）  
施設「ふくいくの園」の充実を求める意見書が全員一致で可決されました。

にある社会福祉法人南紀福祉センターが行っている重症心身障害児者通園事業施設で、自分だけでは活動することも身の周りのことをするのも困難な、重度の障害の方が通園しています。

の実態・徵収率の改善の問題などの質疑が行われ、採決にあたっては賛成・反対ともそれぞれ四名が討論の立つなど激しいやりとりが行われました。

間で違ひのあつた、医療分と介護分の税率”をそれぞれ高いほうの率に合わせ、新町における税率の均一化を図っていくというものです。

**町の総予算は百九十一億円**

## 3月議会

概要

3月定例議会は8日から28日までの日程で開催されました。

松原町長にとって初めての本格的な予算編成でありましたが、一般会計予算の修正可決や国保条例改正案の否決など、一波乱あった議会でした。

一般質問は13名の議員が登壇。26日には合併後初めてとなる日曜議会も開催し、40人の方が傍聴に来られました。「日曜議会の開催を知らなかった」と広報の不備も指摘されました。

前年度当初予算との比較

一般会計は平成十七年度と比較して七億六千九百万円（八・五%）の減額予算となり、ますます厳しい財政事情が現れています。自主財源（町が徴収できる財源）の主なものは町税の十四億七千六百二十八万円、使用料・手数料ほかを合わせても二十一億四千六百九十万円です。

合併による国・県の財政支援の大きい二十一年度までの五年間で職員削減や事務の効率化を進め、財政の健全化を進めいく必要があります。

議会費 政務調査交付金 三百六十万円  
民生費 特養施設整備事業一億三千七百四万円  
農林水産業費 バイオマスマッシュ構想策定業務委託料 三百萬円（修正により削除）  
遊休農地活用支援事業補助金二百万円

予算の採決前に三百万円のバイオマス構想策定委託料予算を全額削除する修正動議が提出されました。

# 十八年度一般会計予算を修正可決

## 6月議会

## 最終処分場計画撤回を求める意見書を可決

廃棄物最終処分場の最終候補地としての  
高富地区の撤回を求める意見書

貴公社におかれては、平成18年4月19日の理事会、評議員会において、廃棄物最終処分場の最終予定候補地として、23箇所の候補地群の中から田辺市、串本町の5箇所の候補地を選定したと発表されました。今後、5箇所の候補地を一線に並べ、現地調査でより詳細な調査を実施すると共に地元説明会を行い、住民や関係団体との合意形成をはかり、今年度中に建設地を決定するとしています。

昨年7月の公社設立より1年も経過しない中で、総事業費80億円に達する大事業にもかかわらず、机上調査のみで最終候補地を絞り込み、発表するという事務執行のありかたは適正処理検討委員会が、厳しく求めていた情報公開の徹底という留意事項からみても、極めて拙速といわざるを得ません。

しかも、最終処分場の基本となる、廃棄物の受入れ基準や、焼却残渣、焼却灰、飛灰等の無害化処理についても明らかにされていません。このような事が関係地区住民の不安と不信を招く原因となっています。

最終予定候補地5ヶ所の内、串本町高富地区の2ヶ所は、1970年国内最初の海中公園地区として指定された海域に密接した地域であり、更に昨年11月には世界最北の大規模なサンゴ群生域の長期にわたる保全と貴重な環境が高く評価されラムサール条約湿地に登録されました。

このことは、串本町のみならず、観光立県を掲げる和歌山県にとっても、熊野世界遺産登録とならんで、かけがえのない貴重な財産として、今後の環境保全と賛成な利用が強く求められています。

山林や雑木林が適正に保全されてこそ、海域の生態系が守られます。海域から僅か100~400メートルの隣接地を広大な範囲で最終処分場として造成することは極めて無謀といわざるを得ず、到底容認することは出来ません。

よって、串本町高富地区を最終候補地と選定された決定に強く抗議するとともに、最終候補地としての決定の撤回を求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成18年6月29日

東牟婁郡串本町議会

[提出先] 財団法人紀南環境整備公社理事長 真砂 充敏 殿  
和歌山県知事 木村 良樹 殿

廃棄物最終処分場の最終候補地としての  
高富地区の撤回を求める意見書

討論を仲江議員、反対討論を和田議員が行いました。  
採決の結果 賛成議員 結城・水口・谷口・古久保・漆畠・和田  
反対議員 村上・仲江・清水・藤田・濱田・辻・角  
採決の結果 十対七で可決  
賛成議員 結城・水口・谷口・古久保・漆畠・和田  
反対議員 村上・仲江・清水・藤田・濱田・辻・角  
以上十六対一で可決されました。



## 6月議会

## 概要

6月定期議会は20日から29日までの日程で開催されました。

一般質問には9名が登壇。今回は高富地区に計画のあがった紀南環境整備公社の最終処分場問題に関し5名の議員が取り上げるなど、関心の高さを示しました。

また、最終日には廃棄物最終処分場の最終候補地としての高富地区の撤回を求める意見書も提案・可決されました。

十八年度一般会計補正予算は質疑・討論の末、賛成多数で可決されました。

質疑の中で特に①臨時職員の採用について、新町発足時から職員を十年間で六十名削減する方針との整合性について②国際交流事業に関する当初予算でトルコ国マルシン市の民族芸能祭計画が議決されているのに補正でさらには八名分追加することについてなど、意見が続出。ほかに職員の旅費の追加補正、特定利用斜面保全事業費、住宅資金貸付事業特別会計繰出金等の質疑がおこなわれました。

採決の結果 十対七で可決  
賛成議員 結城・水口・谷口・古久保・漆畠・和田  
反対議員 村上・仲江・清水・藤田・濱田・辻・角  
以上十六対一で可決されました。

## 串本町議会の議決すべき事件を定める条例制定

地方自治法第九十九条第二項の規定により、議会の議決すべき事件を定める事により、地方の時代にふさわしい議会の機能強化をはかり、議会の政策形成能力を高め、また町民に

現従業員(正職員四十三名、パート十三名)

は全員、新会社で継続雇用されます。



## 一般会計補正予算

串本町菌床製造栽培  
大型共同作業所の変更について  
業務委託の変更について

開かれた町政の推進に寄与する事を目的とし、串本町独自の議決事件を定めるもので、全員一致で可決されました。

## 一 いっぽん質問

**質問** ZTVに対しても2011年後も現行テレビのままで見られる様に(デジ・アナ変換)を申し入れるべきである。

**質問** 地域から学校がなくななると寂しくなるという意見も多いが主役は誰であるかということを勘案して対応すべきでは。

(1) 少子高齢化問題と  
対策について

**質問** 美味しいけれど知られていないため収益につながりにくい魚（ヨロリなど）上手な活用が必要。  
今後の課題として取り組んでほしい。

**(3) 魚食普及について**

質問 低迷する漁業にあつて  
漁家収入は深刻な問題。特  
に近年、消費者の魚離れが  
目立つてゐる。今日まで漁  
協女性部の方々が魚食普及  
に尽力されてきた。水産の  
町として全町的に魚食普及  
に取り組むべきでは。

## ・いっぽん質問

三月議会では

- ①生ゴミの適正処理について
- ②古田浄水場の改良計画について
- ③地下壕調査の結果と今後の対策について
- ④町長の勤務状況について
- ⑤公共施設のトイレの整備と管理について。以上五項目。

六月議会では

- ①古文書の保存・管理について
- ②住宅貸し付け事業の改善について
- ③宝島ゴルフ場開発計画について
- ④紀南環境整備公社の廃棄物最終処分場建設計画について

以上四項目を質問しました。

合併して一年が過ぎました。が、未だ軌道に乗っていない部分が多くあります。旧町の事業できちんと引き継ぎがされていないものや、一本化できていないものなどもあり、町長の指導性が問われています。

私の質問に対し町長は「町政は軌道に乗っている、充分掌握している」旨の答弁をしましたが、具体的な指摘に対しては担当課長ですら答えられない項目も多く、昨年度三日に一度出張をして町長室を空けてきた状態では、重要課題・困難課題解決への方策を質しても一般論や抽象的な答弁しかできないのは当然です。困難を先送りさせることのないよう引き続き議会で取り上げていきます。

A black and white portrait of a middle-aged man with short dark hair, wearing glasses, a light-colored shirt, and a dark tie. He is looking directly at the camera with a neutral expression. The background is plain and light.



卷之三

もよりますが、残業の必要は無いと思いますが、どうですか？

A black and white portrait of Hiroaki Hamada, a man with dark hair and a mustache, wearing a suit and tie.

もよりますが、残業の必要は無いと思いますが、どうですか？

**町長** 怒つたという意識はあまり無くて、人前で注意をしなければならない時もあると思います。

度に後片付けをすべきじゃ  
ないでしょか？

質問 潮岬で竜巻が発生し、この緊急事態に、役場の職員が、業務に支障のない程



## いっぱい質問

**磯焼け対策は重要課題**

串本町は県下で一番長い海岸線を有する町です。

魚介類・海草類の漁業資源はもちろんのこと。スキュー、バダイビングや磯釣り等の観光資源、すなわち第三次産業の経済資源としても、この沿岸海域から私たちちは多くの恵みを受けています。沿岸海域からもたらされる恵みに私たちは依存して暮らしているとも言えます。この豊かな恵みをもたらす沿岸海域は、私たち串本町の大切な財産の一つです。しかし、最近は串本町の沿岸海域も磯が痩せ細り、生物（漁業資源）の生産力が低下しています。出来る限りの対策が必要です。磯焼け現象は、年に度々起こる事で、漁業者たちの収入を大きく減らす要因となっています。



結城 力

**最終処分場問題**

紀南広域最終処分場に高富地区2カ所が候補地になっています。町長の現地調査受け入れの姿勢は、豊かな自然を活用出来るように今から準備をしておくことを当局に求めました。

和田 良太

**私は3月の定例会で、串本病院と古座川病院を、早急に統合をという質問をしました。**

私は新病院の建設まで待つと言ったことは、とてもじゃないが豊かな財政じやない串本町、2つの病院を持つことは無理。年間4億円の繰入金は大変な負担、今年中にでも古座川病院をしめて串本病院一つにするべきだと言う質問をしました。

**町長の答弁**

私は正直言って、病院問題検討委員会は立ち上げているのですが、和田議員の提案があるまで、1年で4億円、2年で8億円という血税と、今の病院をこのままでいいのかどうかについて、1年でも早く考えなければならぬのですが、正直言つてあります。私は事務長に、貴方は病院はもうけて儲けなくてもらひ定の給料はもらえる、でも町長の姿勢を注視する必要があります。

## いっぱい質問

**◎行政改革について**

三位一体の改革により、税源移譲による町税の増収が見込めるものの、地方交付税、国庫支出金等減額される方が多く、財政計画を見ても、平成17年度から21年度までの5年間、毎年のように戸数が減り続けており、今後よりいつそう人件費及び物件費等の抑制をはかり、投資的経費、福祉事業費等住民に還元する予算の確保を図つていかなければいけないようにならなければなりません。

合併のメリットである行政のスリム化をよりいつそう進め、行政改革に取り組み、財政再建団体（赤字団体）にならないようしなければならないことがあります。

**◎商工農林課・水産課・観光課の目的と数値目標について**

当町において、産業の選択肢は一次産業、三次産業の他なく、農林水産及び商工観光の振興は地場産業の柱であると思います。

各産業振興課として販売目標又観光客の宿泊目標と年度別数値目標をたて、よりよい企画をもって、各産業従事者の所得の向上をはかる必要があります。

**◎教育行政について**

質問 教育委員会と教育現場は子どもを真中において緊張感のあるパートナーシップが大切。委員は多様な構成が望ましいが、現場経験をもつ委員が全くいない委員会で地教委としての責任がはたせるのか。

答弁 会議には指導主事も出席されている。すぐに結果はでないと思う。

**◎紀南環境整備公社の廃棄物最終処分場の最終候補地選定について**

質問 有田、田並、利深3小学校の統合はどうなっているか。和深小を単独で残すとすれば2小学校ではすぐ複式になる。統合問題の大前提がくずれるが、保護者の理解は得られるのか。

答弁 サンゴやラムサールについての理解と認識に違いはある。理事の責任について足らざるところはあつたかと思うが放棄はしていない。他に医療問題、ふるさと振興公社、シティタケ栽培共同作業所について質問しました。



塗畠 繁生



藤田 勝彦

答弁 非常に悩んでいる点である。4月早々に説明会を持ったゆきたいと考えている。他に町長の政治姿勢、県が発表した第2次合併について町長の見解を質しました。

**研修会参加報告**

平成18年7月14日南部ロイヤル

**和歌山県町村議会議員の研修会がみなべ町で催されました。**結城・水口・古久保・漆畠・和田・寺町・椿谷・橋爪・角  
・梅野・藤田・浜田・川勝 13名の議員が参加しました。読売新聞編集委員 橋本五郎、県市町村課長上坊勝則両氏の  
講演が今回の研修の内容でした。

講演の概略をご紹介します。



橋本五郎氏

**『これでいいのか日本の政治』**

読売新聞政治部記者・論説委員の視点で、小泉内閣5年間の総括を、おこなったものでした。

小泉政治の特徴を4つのない（変えない・迷わない・聞かない・頼まない=人の頼みも聞かないとスキャンダルが生じない）と捉え、政治不信に陥っていた国民の目に新鮮に映ったことと、運が良かったことが長期政権につながった。

しかし、小泉政治の5年間は温もりのある政治ではなかった。地方や社会的弱者に光をあてる政治ではなかった。このまま構造改革が進めば、格差社会がますます深刻になる。「これでいいのか日本の政治」という内容のものでした。

**「合併新法について」**の講演は、新しく制定された合併特例法と和歌山県の町村合併推進構想を手短に説明した内容でした。

市町村課長に断りを入れてからの、橋本氏の言葉が印象的でした。

**『町村合併で町が大きく広くなても、行政に人の心が失われて****行くようであってはならない。町が大きくなるとそなりがちである。』**

最後に、私たち串本町の議会議員も「これでいいのか串本の政治」を念頭に置いて、串本町が良くなるように頑張ろうとバスの中で語り合いながら、帰途につきました。



上坊勝則氏

**議会議員政治倫理審査会報告**

～町民の信頼の向上を目指して～

平成18年3月22日付で、寺町・橋爪・椿谷・和田・漆畠・古久保議員より、3月16日本会議で、角議員の「…あたかも委員会活動をしなかった旨の事実無根の発言をした…」との調査請求があり、議会議員政治倫理審査会（6人、会長藤田議員）での審査の結果、報告書が6月9日議長に提出されました。

その内容に基づき、次の事項を調査請求者に回答しました。

1. 請求は、条例に基づいて妥当であると認める。
2. 審査会は4回開催、関係資料の収集、調査請求者、当該議員を参考人として出席を認め審査をおこなった。
3. 倫理基準違反という明確な事実は存在しないとの結論になった。
4. 本会議中の議員の問題発言については、会期中に処理することが原則、質疑は当局と議論を深める場である。発言は最大限保障されても、議員間のやり取りや感情的な発言は厳に慎むこと。

尚、倫理条例の再検討、さらに町民の信頼に応えるため、活発な議論と、品位の向上に協力を求めたところです。

**いっぽん質問**

**○入札制度について・町道重畠線について・農林漁業の振興について3月に一般質問をしました**

**質問 入札審査会でどのような見直しをするのか。**

**落札適正価格について。**

**落札率による差金の有効利用について。新浄水場工事は串本町の業者が参加できるよう工事を細かく分割してもらいたい等の質問をしていました。**

**答弁 早い時期に審査会を開き、関係業界の方々のご意見も聴き本町にあつた形を早い時点で方針を出した。**

**新浄水場工事はどの程度の分割をするかを一番に考えなければならぬ。**

**橋爪 和雄**

**質問 神野川重畠山線全域で路盤が傷み道路の修繕と排水溝の修繕及び溝蓋工事を早急にしてほしい旨を一般質問しました。**

**答弁 既存の部分の蓋なり修繕について順次、計画的に予定していく。**

**6月定期会質問事項**

**人事異動について**

町長の基本的な考え方。  
そのメンバーとは。  
職員の人事評価はどう様にしているのか。

人事異動について

現地調査の受け入れをどのように考えている。

廃棄物最終処分場について

現地調査の受け入れをどのように考えている。

**研修会参加報告**

町村議会議長、副議長研修会

**○第31回町村議会議長、副議長研修会(H18年5月)**

・東京メルパルクホール・川勝議長、橋爪副議長出席  
研修会テーマ

第2次地方議会活性化研究会最終報告と議会活性化方策

第1日(5/23 10:00~16:30)

・地方分権改革の行方・農山漁村の多面的機能と役割・政局展望

第2日(5/24 9:00~12:30)

・分権時代に対応した新たな議会の活性化方策・パネルディスカッション



## 特別委員会報告

「もいえない」を合わせて11%でした。その他、「初めは面倒かと思ったが、やってみるととても簡単だった。」「可燃ゴミが少なくなつて楽になった。」「水切バケツが大きすぎた。」等の意見もありました。

串本町におけるバイオマスの年間発生量については、生ごみ1,800t・木くず(剪定 製材関係)約1,000t・建築廃材140t・下水汚泥638t・屎尿汚泥15,570t・水産加工残渣1,000t・椎茸菌床残渣1,800t。これらはいずれも委託処理をしている。

バイオマстаун構想については、広域での取り組み、民間やNPOでの取り組み、屎尿を含めた資源化やエネルギー変換という大局的な協議が今後の課題として残されました。特別委員会での活発な議論をたたき台として費用対効果についての詳細な調査、さらに具体的な施策への実現をめざして当局、常任委員会とともに積極的に取り組んで下さることを、希望いたしまして本特別委員会の中間報告といたします。

## 行財政改革特別委員会中間報告

本委員会は、新町の行政施策や財政計画について、町当局・議会が一体となって行財政改革を進めることを目的に設置されました。

◎町全体の人事費の削減◎各課の機構改革◎課の増減◎職員の適材適所◎各課の機構改革について検討しました。

町長から、現在の経済観光課の業務は範囲が広すぎ、力が分散し目標意識が明確でないと思われる所以、経済観光課を①水産課②観光課③商工農林課の3つの課にしたいとの提案があり、人員については現人員で、平成17年11月に向けて実施したいと提案がありました。

我町は漁業を中心してきた町でもあるので、水産と名の付く課をつくりたいとのこと。

観光課についても、観光立県、立町を目指す中、観光課を独立させて、観光立町を目指したい。

防災対策課についても強化していくべきとの案が出されました。

◎職員の給与制度◎組織機構について、協議しました。

給与制度については、国的人事院勧告を受けて、新給料改革についての説明がありました。

昇給するにあたって成果主義に基づく制度を取り入れ、職責が定められた上で昇給を認めていくという事になるとの事でした。制度の中身については、国の指導と町独自のもの、両方合わせた成果表システムを作成し、それによって実施していくとのこと。平成20年から実施予定とのことでした。その他、町長、助役の二人しかいない中、重要施策については、参事会を置いて、相談しながら進めたいので、参事制は残してほしいとの提案があり、給料は現給のままでという条件で、重要施策については、参事会で協議をする方が良いのではという委員の意見が多かったように思います。



◎組織機構については、現在の17課を16課に減らす。

総務課と企画課を統合して総務課、総合窓口課、管理課、情報政策課を統合して総合業務課となりました。

◎役場職員、臨時職員の採用について当局より提案があり、委員会で検討しました。

予定より多くの退職者が出て、業務に支障をきたす状況の中、3名の臨時職員の採用を認めてほしいとの提案があり協議しました。委員会としては、各委員の意見を十分ふまえ、職員全体の配置を考えた上で対応していただきたいと申し入れました。

行財政改革については、今後も当局ならびに常任委員会においても、積極的に取り組んでいただこうことを強く要望致しまして、行財政改革特別委員会の中間報告と致します。

## 特別委員会報告

### 病院対策特別委員会中間報告

本委員会は、現串本病院、古座川病院に関する診療体制、財政問題等について調査し、経営健全化を図ることを目的に設置されました。

○串本町病院管理規則の一部改正について協議しました。串本病院を土曜休診にしたい。委員会として、住民に対する周知徹底を図ること。患者に対するサービスの低下をなくし、サービスの充実を図ること。等の意見をつけ承いました。

○17年度の運営状況について報告を受けました。串本病院は、昨年より医業収益が良い。また、土曜休診の試行中であるがあまり影響がない。古座川病院は、外来患者が減っている等の報告を受けました。新年度の医療体制については、串本病院は変更なし。古座川病院は、内科医が4名から3名に1名減、古座川町の診療所派遣医師は廃止の予定等の説明を受けました。委員会として、3億5千万円も繰入するのが大変。新病院の骨格を早く決めて、医師確保、看護師の数の調整等も必要。等の意見を提言いたしました。

○新病院の基本理念、基本方針を修正した内容、診療科目についての報告を受けました。委員会として、看護師等のスタッフの交流、医師確保等の問題が挙げられている。医師確保の担保のためにも派遣元の大学病院を早急に訪問しお願いしては。

#### ○近大医学部附属病院、県立医大附属病院を訪問の報告

大柳学部長・塩崎病院長



近大医学部附属病院

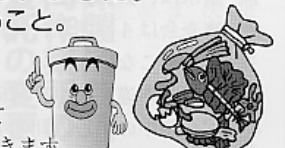
・串本病院へのバックアップは今までどおりさせてもらう。  
・医師の派遣については、最低2年の準備が必要である。  
・医師派遣については、マスターープランが出来てから、両附属病院と串本町で協議すべきである。  
・経営面が難しい、行政としてどこまでするのか。150床で医師15人成り立つか疑問である。  
・医療圈で病院間交流をすれば医師も働きやすくなり、医師数もすくなくて、高度医療を受ける事が出来る。患者の為にもなる。等多くの、意見が両病院より出たとの報告を受けました。委員長のまとめとして、医師派遣については厳しい現状を実感してきた。しかし、現状の病院経営を考えると、串本・古座川病院の統合は避けられない問題である。併せて、医師、看護師の病院間の交流についても町長に考えてほしい。新病院マスターープランについては、医師の数（医師確保）等現状に合った計画にしてほしい。又マスターープラン案については、議会でも協議してほしい。等の意見を付しました。

## 循環環境推進調査特別委員会中間報告

本委員会は、次の事項の調査をするために設置されました。

- (1) 地球規模の課題である循環型社会の創造に関する事。
- (2) ゴミ処理問題等、町の課題に関する事。

生ごみの資源化を目指す方向の必要性については、各委員が共通の認識でしたが、施策として実行に移す時期や方法についての議論は途中であり、現時点では中間報告という形で発表させて頂きます。



串本町生ごみ分別モデル事業アンケート調査(60軒中37軒の回収ができました。)

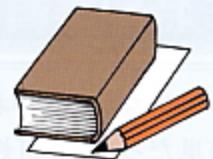
生ごみの回収方法については、約84%が「簡単」と「慣れれば簡単」と答えています。

回収回数については、「週2回が適当」と答えたのは70%「週1回」が8%、「短期要望」が19%ありました。やってみて「良かった」と答えたのは81%、「悪かった」「どちらと

# 議会の動き

## 《本会議》

- |            |        |           |        |
|------------|--------|-----------|--------|
| ・2月13日     | 第2回臨時会 | ・3月8日～30日 | 第1回定例会 |
| ・5月12日     | 第3回臨時会 | ・5月30日    | 第4回臨時会 |
| ・6月20日～30日 | 第2回定例会 |           |        |



## 《委員会》

### [議会運営委員会]

- ・2月28日 第1回定例会の運営について
- ・3月17日 //
- ・3月26日 //
- ・6月13日 第2回定例会の運営について
- ・6月21日 //



### [特別委員会]

- ・2月23日 病院対策特別委員会
- ・2月24日 行財政改革特別委員会
- ・4月26日 病院対策特別委員会
- ・5月15日 循環環境推進調査特別委員会
- ・6月8日 行財政改革特別委員会
- ・6月13日 循環環境推進調査特別委員会
- ・6月16日 病院対策特別委員会

### [常任委員会]

- ・2月9日 産業建設常任委員会
- ・2月23日 総務常任委員会
- ・2月27日 産業建設常任委員会
- ・2月27日 厚生常任委員会
- ・3月22日 産業建設常任委員会
- ・5月1日 産業建設常任委員会
- ・5月17日 総務常任委員会
- ・6月14日 産業建設常任委員会



### 《議員研修》

\* 内容は別ページに掲載。

- ・2月24日 町村議會議員人権研修（みなべ町）
- ・5月23～24日 全国町村議會議長・副議長研修（東京都）
- ・7月14日 町村議会全議員研修（みなべ町）

## 議長 公務日誌（主なもの）（H18年2月～7月）

2月	6日 新宮周辺広域事務組合特別委（新宮市）	14日 アラフラ海ダイバー慰靈式典（串本町潮岬）
	20日 シルバー人材センター設立総会（文化センター）	16日 近畿大学医学部付属病院訪問（大阪狭山市）
3月	21日 串本町章選定委員会（役場本庁舎）	17日 防災タワー竣工式（役場古座分庁舎）
	26日 潮岬おもしろランド開会式（潮岬青少年の家）	19日 県町村議會議長会定期総会（和歌山市）
4月	28日 印南町議会より行政視察に来庁（役場古座分庁舎）	20日 新串本町発足1周年記念式典（文化センター）
	2日 新宮周辺広域事務組合定例会（新宮市）	9日 ひまわり基金法律事務所開設祝賀会（新宮市）
5月	19日 ふれあいきいまつり（文化センター）	15日 和歌山県立医大付属病院訪問（和歌山市）
	29日 宝島クリーンセンター竣工式（串本町田原）	18日 和歌山県水産試験場開所式（串本町内）
6月	3日 東牟婁郡町村議會議長会（新宮市）	24日 地方自治危機突破総決起大会（和歌山市）
	10日 串本西中学校開校式（串本町田並）	1日 串本椎茸（株）設立式（串本町出雲）
7月	14日 トルコ大使館武官他来町（串本町樫野）	11日 広域処分場意見書の提出（和歌山市・田辺市）
	23日 木村知事との懇談会（串本町有田）	18日 東牟婁郡町村議會議長会（新宮市）
	26日 岐阜県中津川市長他来町（役場本庁舎）	19日 高速道路紀南延長促進協議会総会（新宮市）
	28日 和歌山県町村議會議長会（和歌山市）	28日 和歌山県町村議會議長会政策審議会（和歌山市）



す。置いてあります。図書室と古座分庁舎、他、串本図書

梅野 水口 橋爪 結城 濱田 仲江  
光児 崇和 雄力 胜裕 孝丸

編集委員

一般質問の制限時間は一  
人九〇分。二回の定例会分  
を合わすと最長三時間。  
議会だよりでは限られたス  
ペースで原稿をまとめなく  
てはならないので一人の割  
り当ては四五〇字以内で、  
全てを掲載することはでき  
ません。記事を読んで質問  
内容に興味を持たれた方は、  
会議録の閲覧にお越し下さ  
い。会議録は議会事務局の

編集後記